まちの声

稲刈り体験

八幡小5年

子供の声

●稲刈りをしているときカマがなかなか動かず、上手に刈ることができませんでした。（倫明）

●私は、稲刈をしました。あまりやるきかいがないのでよい思い出になりました。（祥子）

●私は、初めて稲かりをしました。カマで、一かぶずつかりました。また稲かりしたいです。（真理）

●昔の人がカマで稲刈りをしていたときの気持ちを、体験できたのでよかったです。（健人）

●ぼくは初めて稲刈りの体験をしました。脱穀も教えてもらってやれたのでよかったです。（茂伸）

●昔はコンバインではなく、カマで刈っていたのですごいと思いました。とても大変でした。（義将）

●わたしは、初めて稲かりをしました。稲かりの体験ができて、いろんなことが学べました。（美里）

●昔の人はカマでこんな苦労を毎年していたということが分かってよかったです。（誉将）

●稲刈りは、手に穂があたっていたかったけど、みんなと楽しく稲刈りができてよかった。（珠里亜）

●稲刈りをして、刈るのが大変だったけど、昔の道具を使って昔の大変さがわかりました。（実央奈）

編集後記

どこまでが夏で、どこから秋なの？はっきりした区別はないけれど、吹く風にちょっぴり冷たさを感じたり、虫の音色に耳を傾けたり。そんな時、ああ、秋になったんだなと感じますが人それぞれの境遇によってまた変わった秋を感じられていることでしょう。

ところで秋の歌といえば、誰でも知っている「夕焼け小焼け」や「赤とんぼ」などありますが、どの歌も寂しさを感じるのは、その歌に悲しい物語があり「夕焼け小焼け」は関東大震災で燃え盛る火を夕焼けに例えて「赤とんぼ」は母親のいない坊やを慰めるため姐やが負ぶってあやしている様子を描いていることを知り私達の心に昔なつかしい風景に故郷を偲ばせます。

毎日何か追われるような喧騒たる中で生きながら、それでいて充実感を感じない毎日、四月から始めた「議会だより」も三回発行、毎回これでよいのであろうかと反省しながら自己満足、犬との散歩に付き合いながらなんとなく「夕焼け小焼け」を口ずさんでいるこの頃であります。（安田正治）

ご意見は下記までお知らせ下さい。

こんなことご存じですか？

—公共施設編—

宿泊や会議に利用できる 霞間ヶ渓さくら会館

利用料	宿泊1人1泊（寝具料は別）	宿泊を伴わない（1人4時間まで）
	1,200円～3,500円	200円

※中学生以下は半額、町外者は2倍。

詳しくは、中央公民館・社会教育課へお問い合せください。
45-7110・有線4461

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK 大豆油インキで印刷しています。

いけだ町議会だより No.118
平成17年11月1日発行
編集　池田町議会広報編集委員会
E-mail　gikai@town.ikeda.gifu.jp
発行責任者／池田町議会議長　坪井澄夫
住所／〒502-2492　岐阜県揖斐郡池田町六之井1468-1
TEL／0585-45-3111　FAX／0585-45-8314